

用水季報

令和3年 4月号
発行元：美しい用水の会
連絡先 090-1993-5903
<http://bunji-yosui.org/>



用水通水状況： 令和3年1月～3月にかけて、砂川用水は1月30日～2月6日、3月19日～3月29日の合計19日間止水しました。止水原因は立川市での護岸工事です。通水時の水量は豊かで、流れの美しさを楽しめます。

令和3年1月～3月の砂川用水美化活動

「定期作業」として1月2回、2月3回、3月3回美化活動を行いました。加えて、並木町公園では毎週水曜日に美化活動を9回実施しました。また、「気づき清掃」と名付けた会員各自がごみ詰まりや草の繁茂などに気づいた時に行う不定期な作業として、並木公民館親水施設のごみ上げ、河床の砂利に溜まった泥を流す作業を中心に、1月5回、2月10回、3月14回美化活動を行いました。この季節の美化活動は、春を迎えるにあたって新芽の緑が護岸を彩るようにと、冬の枯れ草の除去を中心とする活動でした。

春の砂川用水

国分寺市内域を流れる砂川用水（旧野中新田分水）は、春を告げる色鮮やかな花に彩られています。



護岸を春色に彩られた並木町公園

並木町公園に沿って北側を流れる砂川用水は、市内でも稀な昔の用水の面影の残る流れです。水曜日になると‘冒険遊び場の会’が主催する“青空ひろば”に多くの児童が集まり、ナノハナやダイコンバナ、ホトケノザなどに彩られた護岸を眺めながら、思い思いに走り回っている姿が素晴らしい空間を生み出しています。その用水で、美しい用水の会会員が児童と声かわしながら一人護岸の草を整備し、花を育てています。鳳琳院前の桜と護岸の草花、多摩川から流れてくる水とのハーモニーが醸し出す情景はいつでも大事にしたいものです。

五日市街道北側の砂川用水には水は流れていませんが、妙法寺北側と北町地域センターの間に3mほどの

幅で砂川用水の水路跡があります。この水路跡をお花畑にできないかと考え、北町地域センター利用者の皆さんとさまざまな草花を育てています。今はスギナが15cmほど高さで緑のカーペットを作っています。その緑の絨毯の間に色鮮やかにヒメリュウキンカが群生し、ひととき目を引きまします。びっしりと生えているスギナは食用や薬用資源として重宝されると日本薬学会は紹介していますが、同時に「繁殖旺盛で手がつけられない頑固な雑草として嫌われる場合がある」ともホームページで紹介されています。

この地のスギナはまもなく私たちに刈り取られることになります。水が流れる用水路、水が流れていない用水路と用水の姿は異なっても、この水路跡空間を心安らぐ場として季節を彩りたいという、地域センター利用者の皆さまの想いを大切に、さらに多くの皆様にもご参加いただき、ますます色にぎやかに草花を育てたいと願っています。



北町地域センターのヒメリュウキンカ

美化活動拠点のご紹介：CoCo 沓番屋角を南に曲がって

昔、砂川用水（旧野中新田分水）には、水車が2台回っていました。一つは五日市街道と窪東公園西側の通り（堀分け通りと呼ばれていました）の交差する場所にあった戸倉水車、もう一つの水車が、ここにご紹介する榎戸水車です。令和2年3月に国分寺市教育委員会から出された「榎戸水車調査報告書」（以下報告書）に記載された写真を含め一部引用し（「」で表記）をご紹介します。五日市街道沿いにある CoCo 沓番屋の角



砂川用水と水車小屋（南東から）平成 29 年

を南に曲がって20m ほどの所に砂川用水が左の写真の様に流れています。「旧北多摩郡域で、現存する一番古い水車場（水車小屋）である」と、報告書で紹介されている榎戸水車小屋が見えます。美しい用水の会はこの護岸と水路整備を行っています。「直径約4m55cmの水車は明治43年～昭和27年まで」稼働していました。水車は写真にある水車小屋の白壁の外側に設置され、「小屋の中には搗臼（ツキウス）9個、精穀機などの跡が残っています。左写真の赤の部分に水車を回すための堰があり、そこに右写真の青い矢印に堰の跡や赤の矢印の水車への水路跡が残っています。



水車への水路（→）と堰の跡（→）

5月から6月にかけてキバナショウブが水路内に鮮やかに咲き誇ります。砂川用水には、こうした遺構が散見されるのです。

令和2年度の美化活動を終えて：

コロナ禍にあっても、美化活動は順調に実施できました。しかし、用水の止水期間が88日間（年間の約24%）であったことは、

令和2年度の止水状況と原因						
止水理由	立川ごみ取水口	立川ごみ詰まり	立川護岸整備	国分寺護岸整備	小平護岸整備	止水日計
止水日数	7	14	45	13	9	88

昨年度62日間であった点を考え併せると、今後注視する必要があります。

昨年度の美化活動は、毎週の並木町公園の活動を含め年間68回、気づき清掃を136回実施し、国分寺市域内水路のごみ詰まりによる止水は皆無となっています。用水がきれいになったことにより、不法投棄物はだいぶ少なくなってきたように見受けられます。用水を美しくすれば、ポイ捨ても減るとい、よい循環が生まれます。

市の用水、保存林、公園を管理する市・緑と建築課では、市が策定した総合ビジョンの方針を実現するための実施施策を「国分寺市緑の基本計画実施計画」として、今年3月に策定しました。この実施計画では、基本方針として“緑と水辺が持つ機能を高めるため、緑や水辺の拠点や軸によりネットワークを形成する”との方針が明示され、砂川用水に関しては4年後（令和6年度）の具体的目標として“砂川用水について、新たに親水



冬のヤマモモ公園脇水路

化が可能な個所を検討している”状況にすることが明記されています。美しい用水の会の美化活動が、この実施計画の実現に寄与できるよう、市・緑と建築課とも十分相談・検討しながら、今まで行ってきた美化活動を継続し、約300年の歴史を持ち多摩川の水が流れる国分寺市唯一の用水の流れが、児童も親しめる流れになるよう保全していきたいと思っています。なお「国分寺市緑の基本計画実施計画」については、まもなくオープナーや市ホームページで閲覧できるようになると思います

令和3年度の砂川用水美化活動予定

本年度は、用水の美化活動に一層力を入れ、皆さんの憩える空間を維持できるよう活動してまいります。

実施場所は用水の状態によって変わりますので、詳細は「美しい用水の会」下記ホームページでご確認ください。

http://bunji-yosui.org/top_page/img/calendar.pdf

参加者募集

歴史ある、先人が守り続けてきた砂川用水の流れを、草を刈り、花を植え、種を蒔き、いつもきれいに流れる用水路として、子どもたちが水に親しめ、誰もがほっとできる場にしましょう。そして、重要史跡である恋ヶ窪村分水を、市民の宝として保全していきましょう。美しい用水の会は、会員一人ひとりが国分寺の用水に関係する色々な活動、歴史の勉強、草花生育、イベント企画などを自由に行い、会員相互で各自の活動を支援しあう団体です。

年会費は¥500。是非とも気軽に活動に参加いただくことを、心待ちしております。